

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院泌尿器科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

転移性尿路上皮癌に対しエンホルツマブベドチンを投与した14例の検討

2. 対象となる方

転移性尿路上皮癌（腎盂癌、尿管癌、膀胱癌）に対して2022年4月から2023年9月までに抗体薬物複合体(エンホルツマブベドチン)を投与された患者さんです。

3. 研究の目的

抗体薬物複合体エンホルツマブベドチンは転移性尿路上皮癌に対する3rd line 治療（プラチナ製剤を含む化学療法及び免疫チェックポイント阻害薬による治療後）として2021年11月より本邦で承認、使用可能となりました。実臨床においてまだ報告の少ない本薬剤の使用経験を、当院で現在までに投与された14例を検討することで、今後の診療に役立てます。

4. 研究期間

2022年4月~2023年9月

5. 研究に使用する試料・情報の種類

次の診療情報：性別、治療開始時の年齢、手術や生検（組織検査）の有無、転移の部位、投与した薬剤名、治療開始日、治療終了日、治療による副作用、副作用の程度、副作用発生時の対応（副作用に対する投与薬剤や処置）など

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院泌尿器科 医師 坪井 一馬

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院泌尿器科 坪井 一馬